

世話人：林祥介，山本哲生，渡邊誠一郎，小林直樹

## 記

● 月惑星探査緊急討論会—はやぶさ帰還を受けて—

日 時：平成 22 年 9 月 10 日 15:00-18:00

本会場:

神戸大学六甲台第二キャンパス

神戸大学百年記念館 六甲ホール (建物番号 57)

<http://www.kobe-u.ac.jp/info/access/rokko/rokkodai-dai2.htm>

**\*以前のアナウンスから会場が変更となりましたのでご注意ください\***

TV 中継会場：

- (1) 東京工業大学地球惑星科学 (連絡担当者：井田茂)，
- (2) 会津大学 (連絡担当者：北里宏平)，
- (3) 東北大学地学専攻 COE ラウンジ (連絡担当者:古川善博)，
- (4) 北海道大学理学院コスモスタジオ (連絡担当者:木村淳)，
- (5) JAXA 相模原キャンパス (連絡担当者:今村裕志)
- (6) 高知大学 (連絡担当者:本田理恵)

主催：CPS (神戸大学惑星科学研究センター)

共催：今後の宇宙政策の在り方に関する有識者会議 (旧)

日本地球惑星科学連合 宇宙惑星科学セクション

日本惑星科学会

地球電磁気・地球惑星圏学会

世話人：林祥介，山本哲生，渡邊誠一郎，小林直樹

プログラム (予定)

15:00-15:05 神戸大学学長挨拶

15:05-15:15 日本の宇宙政策の現状 (松井)

15:15-15:35 はやぶさ 2 の現状 (吉川)

15:35-15:55 SELENE2 の現状 (橋本)

16:00-18:00 総合討論

参加ご希望の方は本メール末尾のフォームにてご自身によりご記入の上

[decade\\_sec@wakusei.jp](mailto:decade_sec@wakusei.jp) (「月惑星探査の来たる 10 年」事務局)宛に

8 月 31 日までに

ご返送ください。すでにお申し込みの方は再送不要です。

なお、会場の手配、整理の都合上、参加申し込みは同日開催の「月惑星探査来る 10 年公開討論会」と一括しておこなっております。

## 趣旨

ハレー彗星探査に始まった日本の月惑星探査は、近年、「かぐや」、「はやぶさ」ミッションを遂行し、現在、「あかつき」が金星へと向かっています。また「はやぶさ 2」、「SELENE-2」がプリプロジェクトとして進められています。

月惑星探査が展開しつつある一方、日本の惑星科学コミュニティは、他の宇宙科学コミュニティと比べて、探査を実行するうえで必須の搭載機器開発力やマンパワー、組織力が不足していると私達は危惧しており、また惑星科学コミュニティの外からもそのような批判が聞こえて来ます。搭載機器や探査機の開発における姿勢や基本的な考え方にどこか主体性が不足していると感じております。こうした危惧や不安が生じている背景には何があるのか、何が我々には足りないのかを分析し、そして問題点への対処を考えることで、今後の月惑星探査をより良い方向に進めて行きたいと考えております。

上述の問題意識のもと、これまでのそして今後の月惑星探査の進め方について、広く宇宙科学コミュニティに開かれた議論を行うため、探査の科学的内容にご関心の高い研究者だけでなく、探査機や搭載機器開発を進めている現場の研究者にも多くお集まりいただき、自由闊達に意見交換をする場として今回の討論会を企画しました。

本討論会は、現在、日本が進めようとしている月惑星探査の科学的内容に関する討議はもちろん、探査機や搭載機器の開発から地上実験設備を支える科学者・技術者集団の体制に関わる問題等、探査のインフラや実行体制等まで含めた幅広い議論の場としたいと主催者一同考えております。討論会を、喫緊のミッションとして進められている「はやぶさ2」、「SELENE-2」を例として取り上げ、上記の問題を忌憚なく議論することを通じて、よりよい探査計画として練り上げる糧としたいと考えています。

今回は「月惑星探査の来る10年討論会」という惑星探査に関心の高い皆様が集まる好機を得て、本討論会を緊急に開催することに致しました。その結果、「来る10年」の事務局並びに関係者の皆様にはご迷惑をおかけすることになりましたが、ご快諾いただいたことにお礼申し上げます。

本討論会は、「来る10年」が検討を進めようとしている具体的な科学やミッションの策定の根幹に位置する惑星科学コミュニティの姿勢や体制をも議論の視野に入れていきます。今回に限らず今後とも議論を続けて行きたいと考えております。関係者の皆様にはご理解とご協力をお願い申し上げます。

なお本討論会には、現時点で日本惑星科学会および地球電磁気・地球惑星圏学会の共催承諾をいただいています。加えて「今後の宇宙政策の在り方に関する有識者会議（旧）」の共催もいただき、当該会議のメンバーもゲストとしてご出席される予定です。本討論会はJAXAや学会、科学行政等の組織と独立な視点からの、宇宙科学者の自由な討論の場として企画しています。参加者の皆様が主体的に自由闊達な議論を展開していただくよう御留意いただければ幸いです。

## 注意

上述のように、本討論会は、現在、日本が進めようとしている探査ミッションの科学のみにとどまらず、探査機や搭載機器の開発から地上実験設備、それらを支える科学者・技術者集団の開発体制に関わる諸問題を忌憚なく議論する場として位置づけたいと考えております。ご参加いただける研究者の皆様におかれましては、そうした自由な発言を阻害する行為（マスメディアや個人のブログなどを通じた公の場への会議の発言の紹介）などを一切行わないことを参加条件とお認めいただいたものと致します。またマスメディアの方の御参加はご遠慮いただいております。

